生活交通バスを活用した観光誘客の取り組み

観光で利用されるバスをめざして

兵庫県県土整備部県土企画局
交通政策課

兵庫県
Hyogo Prefecture

1　地勢

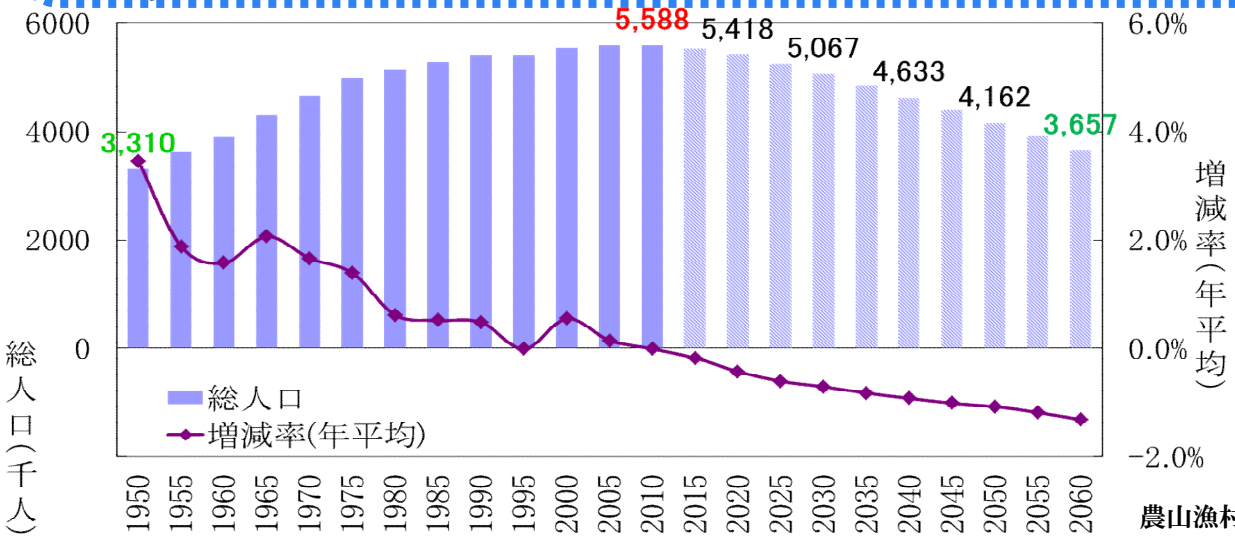
○日本のほぼ中央、東京から新幹線で3時間
○日本海と瀬戸内海・太平洋の2つの海に面する
○世界遺産「姫路城」をはじめ多くの歴史文化遺産
○大阪、京都とともに関西経済圏を形成
●面積：8，400 km^2（全国12位）
●人口：553万7千人（全国7位）
●県内総生産（実質）：21兆7千億円（全国7位）

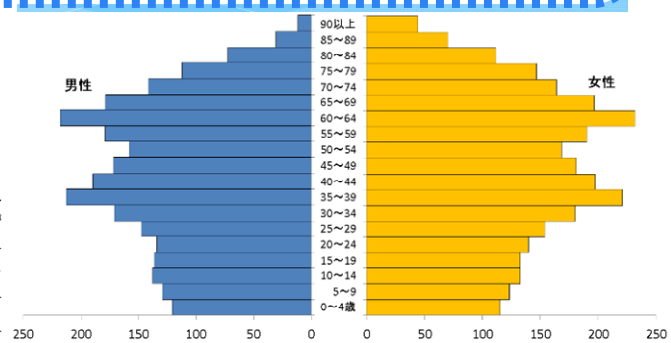
2 社会環境

(1)人口減少は加速化の局面へ(人口の地域偏在も同時進行)

○兵庫県の人口は、1995年の阪神・淡路大震災発生の影響による落ち込み・回復を経たのち、2009年11月の5,600千人超えをピークに減少に転じた

○現行トレンドで推移した場合、2060年の人口は、1950年代半ばと同水準の3,657千人となると見込まれる





中高年層が多い下すぼみの「壷型」

出典:総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口(2013年3月推計)」、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料

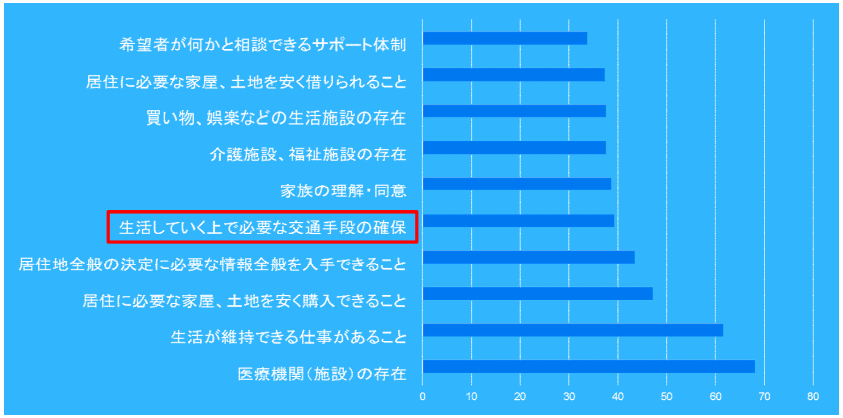
■ 東京圏、大阪府への転出超過が拡大

(人)	転入超過数	東京圏	大阪府	0~19歳	20~29歳	30~39歳	40歳以上
H23	1,234	▲ 3,066	▲ 519	1,729	▲ 1,995	978	522
H24	▲ 1,295	▲ 3,549	▲ 971	1,027	▲ 2,563	48	194
H25	▲ 5,214	▲ 6,238	▲ 1,504	497	▲ 4,241	▲ 694	▲ 776
H26	▲ 7,092	▲ 7,323	▲ 1,174	32	▲ 4,940	▲ 981	▲ 1,204
H27	▲ 7,409	▲ 7,490	▲ 2,240	360	▲ 5,518	▲ 1,399	▲ 853

地域外からの転入者を増加させる必要

定住人口拡大に向けた交通網の充実

農山漁村への定住願望実現のため必要なこと(必要条件).



出典:内閣府「農山漁村に関する世論調査」より上位10項目を抽出

(3)インバウンド観光の増加

○平成27 年度に兵庫県を訪れた観光入込客数は138，755千人 となり、前年度（133，256千人）に比べて5，499千人増加した（＋4．1%）

項目＼地域	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
平成27年度	138,755	35,980	14,461	17,134	8,858	14,176	12,878	6,759	10,331	4,455	13,723
平成26年度	133,256	35,430	14,195	16,620	8,707	13,868	10,022	6,635	10,762	4,304	12,713
対前年比	104.1%	101.6%	101.9%	103.1%	101.7%	102.2%	128.5%	101.9%	96.0%	103.5%	107.9%

出典：平成27年度兵庫県観光客動態調査結果（速報）

区分		平成２６年度 入込数	平成２６年度 構成比	平成２７年度 入込数	平成２７年度 構成比	増減 H27−H26	対前年度比
全県	総入込数	133,256	100.0%	138,755	100.0%	5,499	104.1%
	日帰り客	121,119	90.9%	125,379	90.4%	4,260	103.5%
	宿泊客	12,137	9.1%	13,376	9.6%	1,239	110.2%
神戸	総入込数	35,430	100.0%	35,980	100.0%	550	101.6%
	日帰り客	30,350	85.7%	30,690	85.3%	340	101.1%
	宿泊客	5,080	14.3%	5,290	14.7%	210	104.1%
阪神南	総入込数	14,195	100.0%	14,461	100.0%	266	101.9%
	日帰り客	13,658	96.2%	13,864	95.9%	206	101.5%
	宿泊客	537	3.8%	597	4.1%	60	111.2%
阪神北	総入込数	16,620	100.0%	17,134	100.0%	514	103.1%
	日帰り客	16,186	97.4%	16,685	97.4%	499	103.1%
	宿泊客	434	2.6%	449	2.6%	15	103.5%
東播磨	総入込数	8,707	100.0%	8,858	100.0%	151	101.7%
	日帰り客	8,254	94.8%	8,379	94.6%	125	101.5%
	宿泊客	453	5.2%	479	5.4%	26	105.7%
北播磨	総入込数	13,868	100.0%	14,176	100.0%	308	102.2%
	日帰り客	13,361	96.3%	13,666	96.4%	305	102.3%
	宿泊客	507	3.7%	510	3.6%	3	100.6%
中播磨	総入込数	10,022	100.0%	12,878	100.0%	2,856	128.5%
	日帰り客	9,182	91.6%	11,108	86.3%	1,926	121.0%
	宿泊客	840	8.4%	1,770	13.7%	930	210.7%
西播磨	総入込数	6,635	100.0%	6,759	100.0%	124	101.9%
	日帰り客	5,995	90.4%	6,107	90.4%	112	101.9%
	宿泊客	640	9.6%	652	9.6%	12	101.9%
但馬	総入込数	10,762	100.0%	10,331	100.0%	▲ 431	96.0%
	日帰り客	8,632	80.2%	8,269	80.0%	▲ 363	95.8%
	宿泊客	2,130	19.8%	2,062	20.0%	▲ 68	96.8%
丹波	総入込数	4,304	100.0%	4,455	100.0%	151	103.5%
	日帰り客	4,088	95.0%	4,247	95.3%	159	103.9%
	宿泊客	216	5.0%	208	4.7%	▲ 8	96.3%
淡路	総入込数	12,713	100.0%	13,723	100.0%	1,010	107.9%
	日帰り客	11,413	89.8%	12,364	90.1%	951	108.3%
	宿泊客	1,300	10.2%	1,359	9.9%	59	104.5%

出典：平成27年度兵庫県観光客動態調査結果（速報）

出典：平成27年度兵庫県観光客動態調査結果（速報）

順位	観光施設名		入込客数
1	阪神甲子園球場	（西宮市）	4，158
2	姫路城	（姫路市）	2，867
3	明石公園	（明石市）	2，441
4	淡路ﾊｲｳｪｲｵｱｼｽ	（淡路市）	1，691
5	王子動物園	（神戸市）	1，227
6	宝塚大劇場	（宝塚市）	1，151
7	須磨海浜水族園	（神戸市）	1，137
8	北野工房のまち	（神戸市）	1，025
9	三木総合防災公園	（三木市）	1，002
10	城崎温泉	（豊岡市）	911

出典：平成27年度兵庫県観光客動態調査結果（速報）

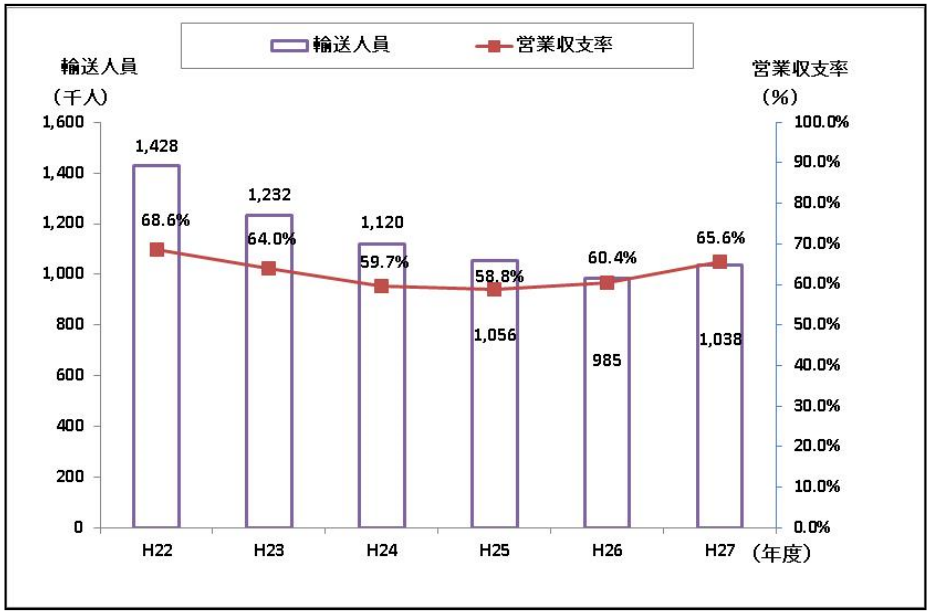
⇒ ・地域外からの訪問者を増加させる必要
・交流人口拡大の必要

《例：淡路地域》

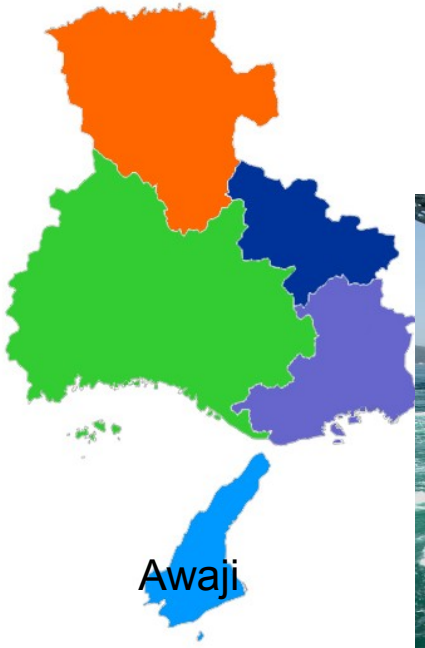
●生活交通を地域のみの移動で補うことは困難！

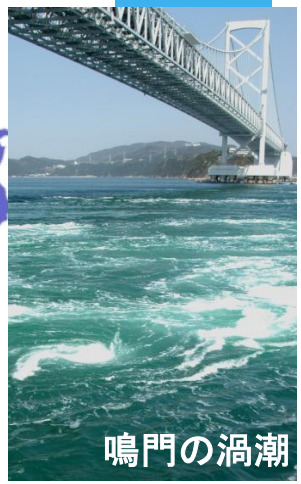
・淡路交通（在来線）の平均乗車率
　⇒定員の10％未満

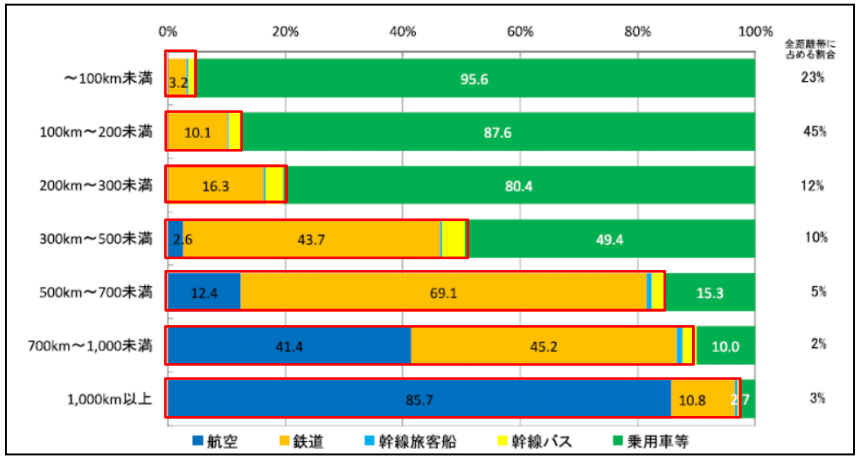
・路線バスの採算の目安
　⇒定員の40～50％の乗車



出典：淡路交通 一般乗合旅客自動車運送事業報告書を基に作成







出典：第5回(2010年度)全国幹線旅客純流動調査(　　：公共交通利用割合)

●島内路線バスの充実が遠方からの観光需要の増加に直結

観光客を含む来島者のバス利用で地域の生活交通を守る工夫が必要

何故、地域外の人は路線バスを利用しないのか?

①業務⇒運行頻度、速達性、定時性

②帰省⇒手荷物、小さな子供

③観光⇒利便性、案内情報

3　県におけるバスの利便性向上策

① ICカードの導入

補助実績 9事業者 県内導入率約90%

出典：兵庫県交通政策課調べ(H29.3末予定)

② バスロケーションシステムの導入

補助実績 3事業者 県内導入率約90%

出典：兵庫県交通政策課調べ(H29.3末予定)

③ バスの乗継ぎ情報「ネット経路検索」

鉄道＋路線バス＋コミバス

大手コンテンツプロバイダに登録されているバス停数

都道府県		登録バス停数	全国の登録バス停数に占める割合
1	東京都	10,234	12.80%
2	**兵庫県**	**9,700**	**12.10%**
3	神奈川県	8,391	10.50%
4	広島県	8,203	10.30%
5	福岡県	4,782	6.00%
6	埼玉県	4,541	5.70%
7	福島県	4,136	5.20%
8	千葉県	3,996	5.00%
9	北海道	3,994	5.00%
10	三重県	3,445	4.30%

広島県HPより

経路検索サービス提供事業者と連携し、鉄道のみならず路線バスやコミバスを含めた公共交通の一括経路検索を同一サイト内で可能にすべく、バス情報“見える化”に取り組む。

④ 観光分野との連携

企画乗車券、周遊券

県内市町コミバスでの観光周遊バス

(1)淡路市

- 4月～10月の土日祝、5便運行
- 岩屋ポートターミナル、花さじき等観光施設周遊
- フリー乗車券：1,000円
- 利用者数
  H27年度：3,278人　6.6人/日

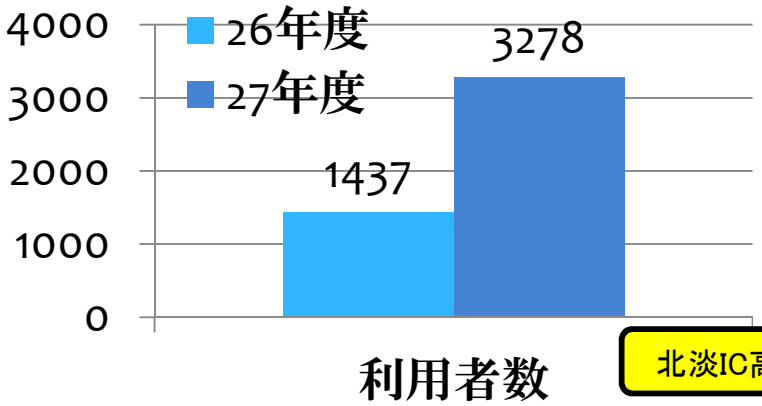
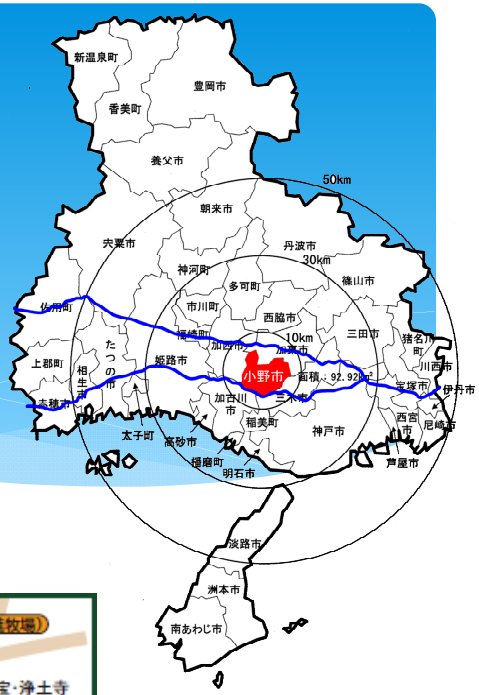


図　路線ルート

(2)小野市

- 日曜のみ、30分間隔運行（H28.1.3～28.6.26）
  観光ボランティア（午前・午後各1便）付
- 神戸電鉄小野駅、国宝浄土寺等周遊
- 1回：100円（フリーパス200円）
- 利用者数：延べ1,403人（127人/日）



4　観光の足としてバスを活用するには

(1)　バス利用のハードルを下げる

どのバスに乗ればいいの？　運賃は？

バスに乗るには不安がいっぱい。

⇒利用環境の改善、バス案内情報の充実

(2)　「不便なバス」から「レアなバス」へ変身

一日数便のバス、山奥の細い道を走るバスなど

⇒アクセス自体にストーリー性をもたせる

（放映中の「路線バスの旅」は、高視聴率！）

↓

バス事業者＋県・市町＋観光施設の連携が不可欠

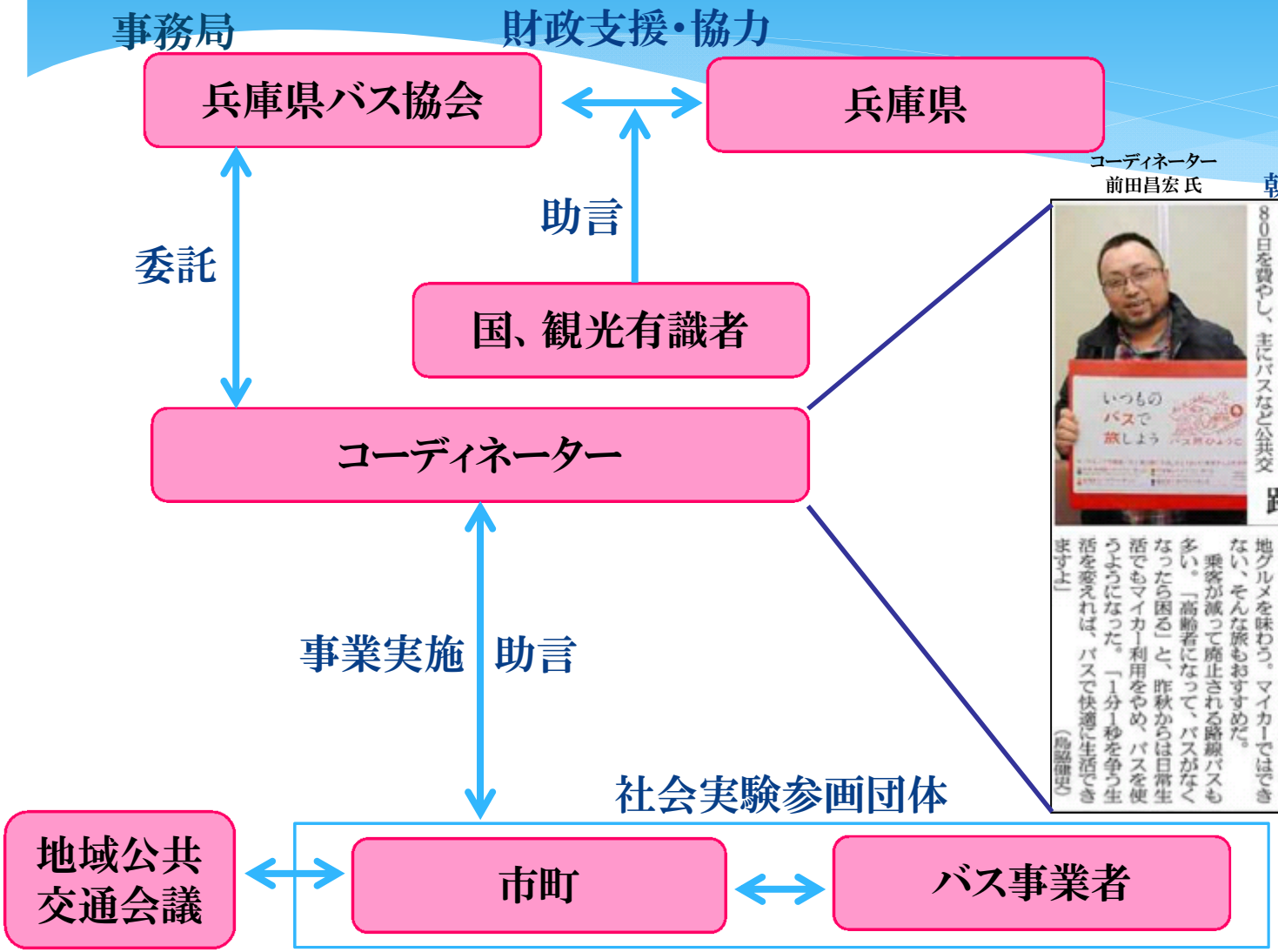
バス旅ひょうご2016
キャンペーン（社会実験）
～いつものバスで旅しよう～

＜テーマイラスト＞

＜ロゴマーク＞

1　検討体制（プロジェクトチーム）

・組織図



コーディネーター
前田昌宏 氏

朝日新聞 地域版（H28.10.10）

路線バスの旅 12ルート

路線バスやコミュニティーバスを自由に乗り降りできるフリー切符を販売する社会実験「バス旅ひょうご」が、11月末まで但馬・播磨、西播磨、丹波篠山、北淡路の4エリアで続いている。主催する県バス協会は、観光客が利用しやすいように旅のモデルとなる12のルートを設定した。ルート作りを担ったのが、自他ともに「バスオタク」と認める前田昌宏さん(47)だ。

姫路市出身。本職はフリーライターで、旅行関係の仕事が多い。一昨年は旅行会社のガイドブックの下調べに180日を費やし、主にバスなど公共交通機関の乗り歩きをした。移動時間はどれくらいか、「最寄りのバス停」は本当に施設に一番近いのか、バス路線は今もあるのか……。「行ってみないとわからないことが多い」という。

路線バスの利用者は地元の人ばかり。車内で会話が弾めば、「おいしいお店があるよ」「いい景色が見えるよ」と教えてもらえるのが魅力の一つ。「乗り継ぎ時間にバス停の周りを散策してみるのもいい。ツアーと違い、ゆったりしているから『旅ごころ』が生まれる」。酒蔵を巡り、「当地グルメを味わう。マイカーではできない、そんな旅もおすすめだ。

乗客が減って廃止される路線バスも多い。「高齢者になって、バスがなくなったら困る」と、昨秋からは日常生活でもマイカー利用をやめ、バスを使うようになった。「1分1秒を争う生活を変えれば、バスで快適に生活できますよ」

（鳥脇健史）

・スケジュール

年　月　日	内　　容
H27年11月16日	プロジェクトチーム発足・検討開始
H28年3月31日	バス旅ひょうごの方針決定
H28年7月上旬	3エリアの企画乗車券を関係市町の地域公共交通会議で承認
H28年7月21日	3エリア企画乗車券を国に登録（但馬・奥播磨、西播磨、丹波地域） 第1回プレスリリース モデルルート調整 広報開始
H28年7月30日	北淡路地域の企画乗車券を追加 国に登録
H28年8月30日	第2回プレスリリース
H28年9月1日～11月30日	社会実験開始
H28年1月末	アンケートとりまとめ、課題抽出、改善策

・予算　10，000千円（県1/2補助（上限5,000千円））

２ 方　針

(1) 3つの戦略

○　観光分野と連携

○　経営改善

○　事業者間連携

(2) 目指すべき姿

○　青春18きっぷ

○　ディスティネーションキャンペーン

⇒ 一工夫＋行動力

(3) 事業の3本柱

広域性を担保した上で、

① 企画乗車券の発行
1枚のチケットでどのバスにも乗降可
お得な運賃割引

② モデルルートの提示、ガイドブックの発行
バス旅初心者対応

③ 情報プラットフォーム（WEB）の開設
バス＋観光施設の総合情報連携

3　社会実験

(1) 目的

① 既存路線バス･コミバスの観光利用の仕組み検討

② 事業者＋事業者、事業者＋市町との連携づくり

③ 課題の抽出、改善策の検討

(2)　期間

平成28年9月1日～11月30日

(3)　参画事業者･市町

6ﾊﾞｽ事業者	神姫バス、ウエスト神姫、神姫グリーンバス、全但バス、本四海峡バス、西日本JRバス
11市町	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、神河町、たつの市、赤穂市、宍粟市、篠山市、淡路市

(4) 4エリア企画乗車券

但馬・奥播磨 2日間券	西播磨 2日間券	丹波篠山 1日間	北淡路 1日間
3，000円	2，300円	800円	2，000円（三宮） 1，500円（高速舞子）
城崎温泉、湯村温泉、ハチ高原、竹田城跡 等	山崎城下町、龍野城、赤穂御崎、書写山、姫路城 等	篠山城下町、陶芸美術館、立杭の郷、清水寺 等	あわじ花さじき、震災記念公園、松帆の湯、夢舞台 等

～企画乗車券ｴﾘｱ・特長～

《丹波篠山》～初心者編～
・高速バスなし
・車内販売可
・篠山市、一部加東市・三田市の路線ﾊﾞｽと篠山市内ｺﾐﾊﾞｽ

《但馬・奥播磨》
～ｻﾊﾞｲﾊﾞﾙﾙｰﾄ・上級編～
・片道高速バス付
（姫路－城崎・ﾏﾘﾝﾜｰﾙﾄﾞ）
・但馬エリア、神河町内の路線バスとｺﾐﾊﾞｽ

《西播磨》～中級者編～
・片道高速バス付（三宮－山崎）
・姫路、宍粟、龍野、赤穂市内の路線ﾊﾞｽとｺﾐﾊﾞｽ

《北淡路》～初心者編～
・往復高速バス付（三宮－東浦BT）
・淡路市ｺﾐﾊﾞｽ

（番外編）お蔵入り案・・・

《阪神間3大アニメ聖地を巡る旅》

・阪急西宮北口駅（涼宮ハルヒの憂鬱）
～七松神社（尼崎市）～手塚治虫記念館（宝塚市）

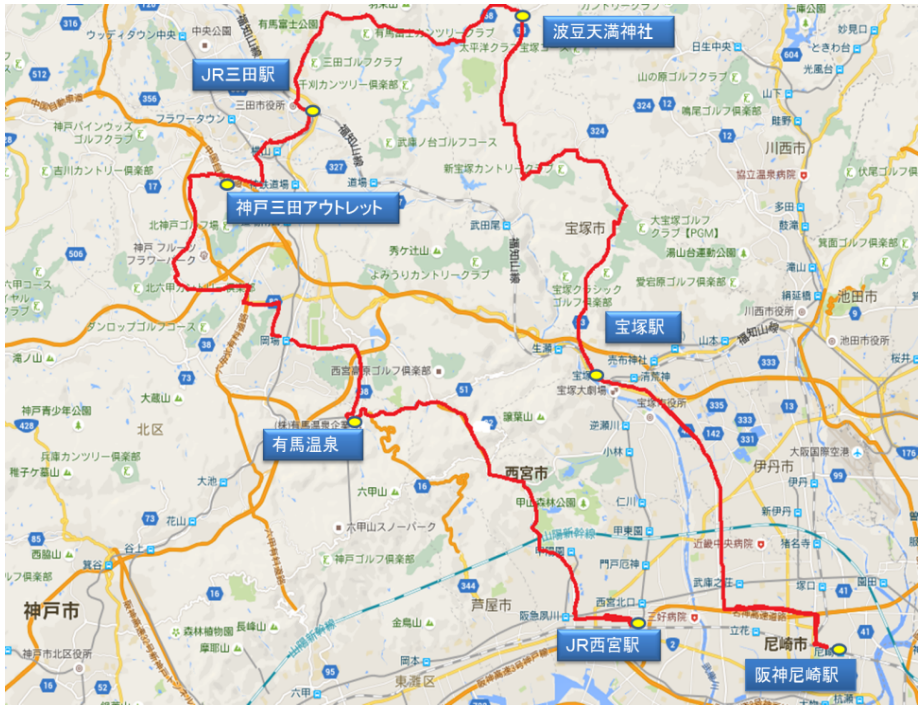
・2バス事業者乗継ぎ

「忍たま乱太郎」の聖地　七松神社

《北摂の里山探検・有馬温泉を巡る旅》

・阪神尼崎駅～波豆八幡神社（宝塚市）
～プレミアムアウトレット（三田市）
～有馬温泉（神戸市）～JR西宮駅（西宮市）

・3バス事業者乗継ぎ



(5) モデルルート(ガイドブックの発行)の提案

ウェブサイトへ誘導

○モデルルート運賃は
通常運賃の半額程度

○ストーリー性を持った
ルートの提案

（6） ウェブサイトの開設

《特長》

① カタログ式のレイアウト

② 観光施設やイベント、料理など関心を引くコンテンツを配置

⇒移動手段としてバス停や時刻などを丁寧に表示

③ パソコンでもスマホでも閲覧でき情報差もない「レスポンシブ」スタイル

4　広報

- 県内全路線バス車両内で吊り広告
- 国、県、市町合同での一斉プレスリリース
- ウェブサイト、SNSの活用
- マスコミ同行取材、乗車体験ルポ発信　等

読売新聞（H28. 9. 1）

路線バス 乗り継ぎ旅

6社と11市町 北淡路など4地域

オタク協力 ルート提案

県内のバス旅を思い切り楽しんで―。県バス協会（神戸市）は1日から県内4地域で、路線バスやコミュニティーバスを乗り継いで温泉や城下町を巡る「バス旅ひょうご2016」を始める。3か月間の社会実験で、企画乗車券を発行して積極的な利用を呼びかける。

（加藤あかね）

バス旅の実験を行う県内4地域

きょうから期間限定実験

少子高齢化で利用が低迷しているバス路線を維持していくため、観光客を呼び込もうと同協会が初めて企画。神姫バスや全但バス、本四海峡バス、西日本JRバスなど事業者6社と豊岡、たつの、篠山、淡路など11市町が参加した。

既存の路線を乗り継ぐ場合、時間帯によっては待ち時間が長かったり、業者によって支払いが乗車時か降車時など異なる不便さがあったりする。

このため、同協会が「パスオタク」と称する愛好家らにルート提案を依頼。スムーズな乗り換えが可能な時間帯を考えてもらい、但馬・奥播磨と西播磨、丹波篠山、北淡路の4地域で12のモデルコースを設定。各地域別に1～2日間、乗り放題となる切符を計4種類販売することにした。

その一つ、「但馬・奥播磨2デイフリーきっぷ」は姫路と、城崎、湯村両温泉やコウノトリの郷公園、ハチ高原などを巡るもの。姫路発の高速バスは土日祝日のみの運行だが、但馬地域内の主な路線は乗り降り自由。2日間使え、大人3000円（税込み、高速バスは片道1回限り）と通常料金の半額以下で楽しめる。

姫路駅前や神戸三宮バスターミナルなどで発売。金額は切符によって異なる。

事業費1000万円で、県が半額を助成する。ホームページ（http://hyogo-bus.or.jp/tabi/）上に、利用者が新規開拓したルートを投稿できるようにする。課題を把握し、来年度以降の本格実施に結びつけるという。同協会は「バスに乗っていただくことで他地域との交流を深め、活性化につながれば」と期待する。

愛好家　前田昌宏 氏

テレビ局による同行取材

さて月島さんの旅ルポは、とある9月の日曜日、スタート地点の姫路駅（北口）から始まります。道中で撮影した多数の写真とともに連載形式でお伝えしていきますので、どうぞご期待ください！

5　販促

・バスまつり（スルッとKANSAI協議会）

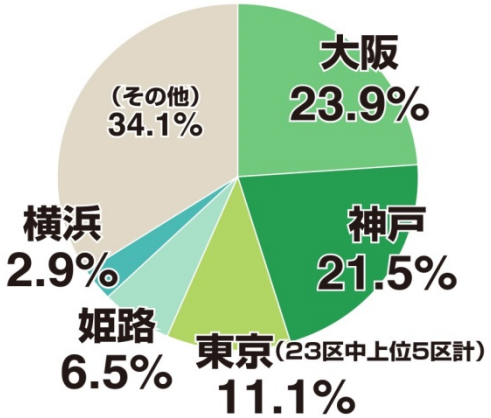
- 事業者と市町連携による観光協会等への売込
- 販売実績、ウェブの閲覧状況を勘案した
  新たなモデルルートの提案
  訪問地の魅力の再発信

6　販売状況

(1) ウェブの閲覧状況(10月7日時点)

・日平均アクセス数:1,023ページビュー、288セッション

・アクセスの多い都市ベスト5



(2)乗車販売枚数(9月30日時点)

地域	但馬・奥播磨	西播磨	丹波篠山	北淡路	計
販売	8枚	24枚	44枚	23枚	99枚
モニター	31枚	20枚	14枚	35枚	100枚
計	39枚	44枚	58枚	58枚	199枚

《目標の一つ　SUNQパス（事務局：西日本鉄道）》

九州島内＆下関の高速バスおよび一般路線バス ほぼ全線と船
舶4航路が 乗り放題になる乗車券

北部九州＋下関 3日間券	全九州＋下関 3日間券	全九州＋下関 4日間券
8,000円 （海外では6,000円で発売）	10,000円	14,000円
連続する3日間乗り放題		連続する4日間乗り放題

（西鉄資料抜粋）

SUNQパス発売開始当初との比較

2005年3月1日発売開始（当初は試行）

	2005年（当初）	2016年（現在）
運営主体	九州高速バス予約システム 運営委員会	SUNQパス 運営委員会
参画事業者数	11社	49社局
対象エリア	北部九州 （福岡・佐賀・長崎・熊本・大分）	北部九州（下関・３航路含む） 全九州（下関・４航路含む）
路線数	35路線 （高速31 ＋ 一般4）	約2,400路線 （高速 ＋ 一般）
券種	北部九州：3日間	北部九州：3日間 全九州：3日間・4日間

（西鉄資料抜粋）

7　利用者の声を聞く（ウェブサイト）

一般利用者アンケート
＋
モニター旅行者アンケート
平安女学院大生等
（他府県住民＋観光分野専攻）

《アンケート内容》
・事業の認知手段
・事業内容など満足度
・モデルルートの感想
・ウェブサイト掲載内容への提案
・企画乗車券への希望等

次年度以降の本格実施

課題の抽出、改善策の検討
＋
社会実験で生まれた
連携体制　・　取組み

「バス旅ひょうご」(http://hyogobus.or.jp/tabi/user-form/).意見募集フォーム

8　社会実験で生まれつつある果実

《事業者の意識改革》

〇乗車券の販売枚数を毎週情報共有

⇒ 事業者間での競争心理 ⇒ 事業に積極関与

・利用者の視点で、バス沿線資源の情報提供

・市町との連携強化

〇新たな企画乗車券造成への機運

〇エリア内全路線・全市町で一枚の企画乗車券の検討

《市町の意識改革》

〇コミバスと観光施設とのタイアップ（特典割引）

〇地域の魅力再発掘

《参考：高速バスの充実・利用促進》

LCC・高速バス⇔2次交通の連携促進に関する実証調査（イメージ）

関係者限り

○高速バス・LCCは、全国の地方都市へのネットワークも構築しているとともに、高速バスターミナルや空港は、地場の2次交通との結節機能を持っていることから、両者の連携を進めることで、公共交通としての、高速バス・LCCのより一層の利便性向上を図る。

・実証調査イメージ

(1)課題と対応

・低コストで都市間を移動可能な高速バス・LCCは、ネットワークが広がりつつあり、手軽な公共交通として、今後、利用促進が期待される交通モードである。
・高速バス・LCCは、バスターミナル、空港等を起終点としていることから、二次交通との接続を円滑にする等、連携を強化することで、これまで以上に<u>高速バス・LCCの価値向上</u>が期待されるとともに、<u>地場の2次交通事業者にとっても利用者増</u>が見込まれる。
・しかしながら、"高速バス・LCC事業者"と"地場の二次交通事業者"が積極的に連携するインセンティブや環境は十分でないことから、国として、連携を促進するための環境づくりが必要。

(2)実証調査の主体

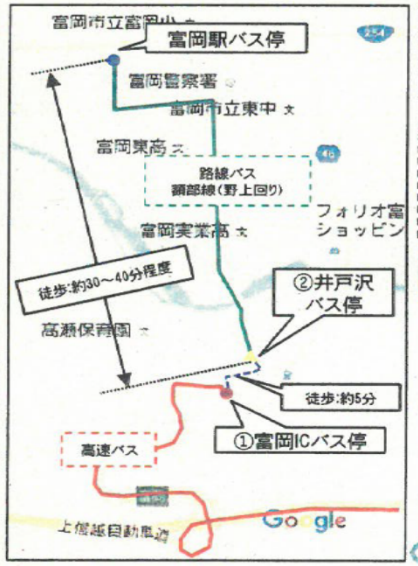
・高速バス・LCC事業者、地方自治体、空港・バスターミナルの管理者、地場2次交通事業者等からなる協議会を想定。

(3)連携実証調査の内容

・高速バス・LCCのチケット購入段階での、地場2次交通を含めた移動チケットの販売手法を検討する等、LCC・高速バスの利用環境の発展を検討。
・乗り継ぎ時間の設定や、乗り換え動線の確保等、乗換え円滑化策の検討。
・新たな高速バス・LCC事業者の誘致に向けた方策。
・高速バスとの交通結節点としての道の駅や高速道路ｻｰﾋﾞｽｴﾘｱの活用方策の検討。

○実証調査対象のイメージ

・高速バスと地元2次交通の乗継が円滑ではない。



・池袋（出発地）
↓【高速バス:約2時間】
①富岡IC（バス停）
↓【徒歩:約5分程度】
②井戸沢　停留場
↓【乗合タクシー:約20分】
・富岡駅　停留場

高速バス 富岡IC着時刻	乗合タクシー 井戸沢停発時刻
	7:44
10:14	
10:24	
	11:02
	14:02
14:14	接続可能な交通がない

９　本格実施になれば・・・

バス旅の利便性アップ

↓

観光客のバス利用者の増加

↓

路線バス、コミバスの経営改善

↓

バス運行支援補助額減少

↓

地域住民の移動手段の維持確保！

ご清聴ありがとうございました